



内経済の動き

概況

〔12月～2月の動き〕

県内経済は足踏み状態。

生産活動は一進一退の動き。大型小売店の総販売額（1月 全店ベース）は6カ月ぶりに前年を下回った。乗用車の販売台数（2月 軽自動車を含む）は8カ月連続で前年比減少し、新設住宅着工戸数（1月）も前年比11カ月連続で減少するなど、低迷が長期化している。公共工事（1月 保証対象請負総額）は2カ月連続で前年を上回り、輸出額（1月 細島港）は2カ月連続で前年比増加した。有効求人倍率（1月：0.97倍）は前月比低下した。

一部に緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、その動きは弱く、県内経済は足踏み状態にある。

（黒木）